

令和2年度 神奈川県立横浜国際高等学校 指導計画（予定）

教科・科目	日本語A: 言語と文学 (HL)	学年	2, 3	教科書	『批評理論入門』『日本語のレトリック』『日本語は空気が決める』
		単位数	5, 5	副教材	『三四郎』『青い眼が欲しい』『人形の家』『二十億光年の孤独』『コンビニ人間』『海辺のカフカ』『新訂国語図説四訂版』京都書房 など

学習目標	<ol style="list-style-type: none"> さまざまな媒体や形式、異なる時代、スタイル(文体)、文化からの多様なテキストに触れる。 話す、読む、書く、見る、発表する、およびパフォーマンススキルを伸ばす。 解釈や分析、評価のスキルを伸ばす。 テキストのフォーマルで美的な性質への完成を磨き、またそれらがどう多様な応答や複数の意味をもたらすのかを鑑賞できるようになる。 テキストと多様な価値観、文化的文脈、地域とグローバルな問題との関わりについて理解を深め、またそれらがどう多様な応答や複数の意味をもたらすのかを鑑賞できるようになる。 「言語と文学」と他の教科の関係性への理解を深める。 自身をもち、創造的な方法でコミュニケーションをとり、協働する。 言語と文学に対して、生涯にわたって関心と喜びをもつように促す。
学習方法	生徒は様々な文学作品および非文学作品を読んだ上で授業に臨み、授業ではディスカッションをしながら作品を分析する。分析の際は、図書館で本を借りて読む、インターネットで調べる、映像を見る、など、さまざまなアプローチで行う。単元の最後には、考察や分析をレポートにまとめたり、口頭で発表したりするため、計画的に取り組む必要がある。

内容のまとめ	時期	単元(題材)	評価方法
読者、作者、テキスト テキスト間相互関連性	1年次 1-3月	『コンビニ人間』村田沙耶香・広告・新聞記事・ウェブサイトなど 『二十億光年の孤独』谷川俊太郎 ・私たちが言語と文学を学ぶのはなぜか、またどのように学ぶのか。 ・意味が構築、交渉、表現、解釈される方法にはどのようなものがあるのか。 ・言語の使用はテキストタイプや文学形式によってどのように異なるか。	<ul style="list-style-type: none"> ディスカッション 口頭発表 論述 学習者ポートフォリオ
時間と空間 テキスト間相互関連性	2年次 前期	『青い眼が欲しい』トニ・モリソン・新聞記事・ウェブサイト・スピーチスクリプト・動画など ・テキストの創作と受け止め方において、文化的、歴史的な文脈はどの程度重要か。 ・自分とは異なる時代と文化から生まれたテキストにどのようにアプローチするか。 ・テキストはどのように文化的慣習を反映し、表現し、またその一部を形成するか。	
時間と空間 テキスト間相互関連性	2年次 後期	『人形の家』イブセン・広告・新聞記事・ウェブサイトなど ・テキストはどの程度、他の文化についての見解をもたらすか。 ・テキストの意味と影響は、時間の経過とともにどのように変化するか。 ・「古典的な」テキストという考え方は、どの程度妥当か。	
読者、作者、テキスト 時間と空間 テキスト間相互関連性		『コンビニ人間』『二十億光年の孤独』『青い眼が欲しい』『人形の家』 広告・新聞記事・ウェブサイト・スピーチスクリプトなど ・グローバルな問題が、作品の中でどのように表現されているか。 ・テキストは、どのようにして1つの問題、トピック、テーマについて複数の観点をもちたすことができるのか。 ・多様なテキストは、どのような場合に共通の類似点をもつことができるか。 ・テキストはどのように洞察や課題をもたらすか。	
読者、作者、テキスト 時間と空間	3年次 前期	『三四郎』夏目漱石・広告・新聞記事・ウェブサイトなど ・意味が構築、交渉、表現、解釈される方法には、どのようなものがあるか。 ・言語はどのように社会的特性やアイデンティティを表すか。	
読者、作者、テキスト テキスト間相互関連性		『海辺のカフカ』村上春樹・広告・新聞記事・ウェブサイトなど ・テキストの構成やスタイルは、どのように意味に影響するか。 ・文献引用方法や仕組みは、時代とともにどのように進化したか。	
読者、作者、テキスト 時間と空間 テキスト間相互関連性		『コンビニ人間』『二十億光年の孤独』『青い眼が欲しい』『人形の家』『三四郎』『海辺のカフカ』 広告・新聞記事・ウェブサイト・動画・スピーチスクリプト など ・私たちは、さまざまなテキストからどのような影響を受けているのか。 ・テキストはどのように文学形式やテキストタイプにまつわる伝統的方法に従っているか。 ・多様なテキストは、どのような場合に共通の類似点をもつことができるか。 ・比較や解釈はどのように応用されるか。	

最終試験 評価項目	外部評価 (EA)	Paper 1 設問つきテキスト分析	35%	80%
		Paper 2 比較小論文	25%	
		HLエッセイ	20%	
	内部評価 (IA)	個人口述	20%	20%